「令和８年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」
受賞者の決定について

令和８年 10 月 15 日
一般財団法人ふるさと財団

ふるさと財団では、平成 14 年度から**「ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」**の表彰を行っています。
この表彰は、地域振興に資する事業を展開する民間事業者を顕彰し、その活動を全国に広く周知することにより、地域の振興、地域経済の活性化と魅力あるふるさとづくりの推進に資することを目的としています。

このたび、令和８年度の受賞者として 10 事業者を決定し、表彰することになりましたので、お知らせします。（別紙１及び別紙２参照）

表彰状は、推薦自治体の取り計らいにより、対象事業の実施地域等において開催する伝達式において贈呈します。（別紙３参照）

＜ご参考＞

１ 表彰対象者について

ふるさと融資を利用した民間事業者のうち、融資の対象事業が、
① 地域経済及び雇用に特に貢献していると認められること
② 地域のイメージアップに特に貢献していると認められること
③ その他魅力あるふるさとづくりに特に貢献していると認められること
のいずれかに該当するものです。

２ 選考について

都道府県及び市町村から推薦をいただいた候補事業者について、令和８年８月５日に開催した審査委員会（委員長：株式会社野村総合研究所　顧問　増田寛也氏）において選考しました。（委員名簿は別紙４参照）

【お問い合わせ先】一般財団法人ふるさと財団
融資部地域産業課　松田
ＴＥＬ：０３－３２６３－５５８６
ＦＡＸ：０３－３２６３－５７３２
E-mail：chiiki-ka@furusato-zaidan.or.jp

※ふるさと財団は、令和８年 10 月より「地域総合整備財団」から「ふるさと財団」に名称を変更いたしました。

【別紙１】

令和８年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）受賞者一覧

事 業 者 名	事 業 名	推薦団体	備考
猿払村漁業協同組合	水産物加工処理施設・水産廃棄物等処理施設整備事業	北海道 猿払村	
株式会社サン・エナジー洋野	洋野角浜太陽光発電事業	岩手県 洋野町	
株式会社アサヒニイズマ	試作品、研究開発品製造工場増築事業	山形県 鶴岡市	
株式会社オプナス	錠前製造工場建設事業	埼玉県 秩父市	
ニッポン高度紙工業株式会社	電解コンデンサ用セパレータ製造工場建設事業	鳥取県	
株式会社アイテイスト	ビジネスホテル建設事業	徳島県 小松島市	
株式会社日本生物製剤	医療用医薬品等製造工場建設事業	福岡県 久留米市	
株式会社ウエストジャパンフーヅ	水産加工品製造施設建設事業	長崎県 松浦市	
南国殖産株式会社	中央町19・20番街区再開発ビル保留床取得事業	鹿児島県 鹿児島市	
石垣空港ターミナル株式会社	石垣空港ターミナルビル新築事業	沖縄県	

【別紙２】

令和８年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）受賞者概要

事業者名 （事業名）	推薦団体名	事業概要	受賞のポイント
猿払村漁業協同組合 （水産物加工処理施設・水産廃棄物等処理施設整備事業）	北海道 猿払村	○昭和 24 年設立。昭和 46 年、乱獲によるホタテ資源の枯渇を受けて漁場造成を開始し、昭和 54 年にはホタテの水揚げ量が日本一に回復。平成28年に老朽化したホタテ乾燥貝柱加工処理施設を建て替え。 ○ホタテ桁網漁業を主軸に、毛ガニ、サケ、マス等の漁業やホタテの加工事業、信用事業等を展開。ホタテ関連商品の約 9 割を海外へ販売。	○若い漁業者を早期から独立した経営者として位置付け、労働に見合った収入を確保するほか、引退後も一定年齢まで配分金を受けられる仕組みを整備するなど、漁業の担い手確保・定着に貢献。 ○従業員の大半を地元及び周辺地域から雇用するとともに、猿払村へ継続的に寄付を行うなど、村の基幹産業として地域経済を支えている。 ○ホタテ漁業で生じる貝殻を全量再資源化し、建設資材や土壌改良材等に活用するほか、貝殻を原料に使用した製品開発にも取り組み、資源循環を推進。
株式会社サン・エナジー洋野 （洋野角浜太陽光発電事業）	岩手県 洋野町	○平成24年、東日本大震災により被災した洋野町の復興支援を目的に設立。平成26年、町内の遊休地を活用した角浜・平内サイトの太陽光発電所が運用開始。 ○町内 2 か所、合計約 19.4ha の敷地に、出力 10MW の太陽光発電設備を整備。地域の未利用地を再生可能エネルギーの供給拠点として有効活用している。	○太陽光発電設備が連続する海岸部を洋野町が「浜風エナジーロード」と命名するなど、震災復興のシンボルとして新たな地域景観・観光資源の形成に寄与。 ○小学生から高校生を対象とした再生可能エネルギーの出前講座や地域イベントへの参加を通じ、環境・エネルギー教育や地域交流を推進。 ○発電設備の点検・設備交換等に地元事業者を活用するほか、防犯灯の寄贈や豪雪被害時の寄付金など、地域の実情に応じた支援を継続。

事業者名 （事業名）	推薦団体名	事業概要	受賞のポイント
株式会社アサヒニイズマ （試作品、研究開発品製造工場増築事業）	山形県 鶴岡市	○平成 16 年、旧朝日村の企業誘致を背景に設立。平成 17 年に操業を開始し、平成 27 年に第 2 工場、令和元年に第 3 工場を増築。 ○金属・非鉄金属を材料とする試作品・研究開発品向けの精密機械部品の切削加工を中心に、治工具や省力化機器の精密部品、小・中ロットの量産品等を製造。複雑な形状や難削材にも対応する高い技術力を強みに、大手メーカー等との取引を展開。	○従業員を地元から採用し、工場増設に伴い雇用を拡大するなど、若者を中心とした地域の安定的な雇用の場を創出。 ○地元小・中学校への継続的な寄付に加え、小学生の工場見学、中学生の職場体験、高校生のインターンシップを受け入れ、次世代のものづくり人材の育成に貢献。 ○技能士資格の取得費用を会社が支援するなど人材育成に注力するとともに、金属切粉の分別・再資源化や ISO14001 の取得など、環境に配慮した事業活動を実施。
株式会社オプナス （錠前製造工場建設事業）	埼玉県 秩父市	○昭和５年、東京都荒川区で創業。昭和 37 年に埼玉県皆野町へ工場を設置し、平成15年に株式会社オプナスを設立。令和 2 年、秩父市の企業誘致を受け、工場跡地に秩父工場を整備し移転。 ○金庫、自動販売機、住宅・建物の扉、ロッカー等に使用する各種錠前の製造を主力とし、近年は電気錠・認証システム、スマートロック等の分野にも展開。	○秩父工場の整備により大規模な雇用の場を確保し、地域におけるものづくり産業と雇用の維持・拡大に貢献。 ○毎年多くの地元小学生・高校生の工場見学やインターンシップを受け入れ、地域の若者がものづくりに触れる機会を提供。 ○地域の祭り・イベントへの協賛や駐車場の開放、フードドライブへの食品寄贈、福祉施設の活動支援など、幅広い地域貢献活動を継続している。

事業者名 （事業名）	推薦団体名	事業概要	受賞のポイント
ニッポン高度紙工業株式会社 （電解コンデンサ用セパレータ製造工場建設事業）	鳥取県	○昭和16年、高知県高知市で創立。平成6年に高知県安芸市へ工場を増設し、平成27年に鳥取県米子市で米子工場の操業を開始。 ○土佐和紙の技術を原点に、アルミ電解コンデンサ用やリチウムイオン電池用のセパレータ等を製造。主力のアルミ電解コンデンサ用セパレータは国内約95%、世界約60%のシェアを有し、AIサーバーや電気自動車等の分野でも使用されている。	○米子工場では地元県内からの採用を積極的に行うとともに、高校・高専からのインターンシップを継続的に受け入れ、良質で安定的な地域雇用に貢献。 ○鳥取県と連携した森林保全活動や県有林のJ-クレジット購入などを通じ、地域の森林保全やカーボンオフセットを推進。 ○経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されるなど、世界的に高い競争力を有する企業として、鳥取県のものづくり産業の模範となり、地域のイメージアップに貢献。
株式会社アイテイスト （ビジネスホテル建設事業）	徳島県 小松島市	○昭和46年、徳島県阿南市で有限会社石松を設立。平成10年に株式会社アイテイストへ社名変更し、飲食事業等を展開。 ○小松島市からのホテル誘致を受け、令和3年に市中心部の再開発エリアで「スーパーホテル徳島・小松島天然温泉」を開業。徳島赤十字病院や小松島競輪場等にも近く、地域の宿泊拠点となっている。	○徳島赤十字病院に隣接し、県外から訪れる入院患者の家族等の宿泊先として機能するなど、地域医療を側面から支える受入環境を整備。 ○夕食を館内で提供しない「泊食分離」の運営とし、地元飲食店マップや食事クーポン等により宿泊客を周辺店舗へ誘導し、地域内消費の拡大に貢献。 ○小松島市と災害時協定を締結し、津波等の災害時にはホテルを避難場所として開放する体制を整備。無料レンタサイクルや地域イベントへの協力など、市内周遊・地域交流にも取り組む。

事業者名 （事業名）	推薦団体名	事業概要	受賞のポイント
株式会社日本生物製剤 （医療用医薬品等製造工場建設事業）	福岡県 久留米市	○昭和29年、人プラセンタ製剤開発の先駆者となる財団法人久留米組織再生研究所を設立。昭和42年、医療用医薬品として適応症「肝硬変症」で薬価収載。昭和45年、株式会社日本生物製剤を設立し、事業を承継。平成16年、久留米市に研究開発拠点を開設、平成27年、新製造工場を建設。 ○人プラセンタ製剤の医療用医薬品、動物プラセンタを用いた健康補助食品、化粧品等の研究・製造・販売を行うとともに、国内外の研究機関等と連携し、新製品の開発にも取り組んでいる。	○2つの工場従業員の8割以上を久留米市及び周辺地域から採用するなど、地域雇用の創出に貢献。久留米市から「雇用優良事業所」として表彰されるなど、働きやすい職場づくりにも注力。 ○新工場整備後も地元企業・取引先との関係を重視し、資材や設備機器等の調達に地元事業者を活用するなど、地域経済の循環に寄与。 ○従来廃棄されていた胎盤を回収し、医薬品や化粧品等へ再資源化するほか、工場屋根に太陽光発電設備を設置するなど、環境負荷低減に取り組んでいる。
株式会社ウエストジャパンフーヅ （水産加工品製造施設建設事業）	長崎県 松浦市	○平成 24 年設立。平成 25 年、松浦市にアジ・サバフィーレ及び冷凍サバの加工品製造施設を整備。 ○株式会社三陽グループの製造部門として、松浦市で水揚げされるアジ・サバ等を加工。立地を生かした高鮮度の商品製造や冷凍技術により、国内販売に加え海外輸出にも取り組んでいる。	○「アジフライの聖地」を掲げる松浦市において、地域の水産資源を活用した商品製造を行い、アジを中心とした地域ブランドの形成・発信に貢献。 ○150 人を超える雇用の場を確保し、外国人材も積極的に受け入れるなど、人口減少が進む地域における水産加工業の担い手確保に寄与。 ○地元高校生が考案したアジのうろこの活用案を基に、化粧品会社と商品化に向けた開発を進めるほか、加工時に生じる未利用部位を飼料等に再利用し、水産資源の有効活用に取り組む。

事業者名 （事業名）	推薦団体名	事業概要	受賞のポイント
南国殖産株式会社 （中央町 19・20 番街区再開発ビル保留床取得事業）	鹿児島県 鹿児島市	○昭和20年、鹿児島県川内市（現薩摩川内市）で設立し、昭和 29 年に本社を鹿児島市へ移転。鹿児島県を中心にエネルギー、情報通信、建設・不動産等の幅広い事業を展開する地域の中核企業。 ○鹿児島中央駅前の「中央町19・20番街区第一種市街地再開発事業」に参画し、商業・業務施設等からなる複合施設を整備。鹿児島中央駅周辺の新たな交流・にぎわい拠点を形成している。	○再開発の初期段階から長期間にわたり地権者との権利調整や合意形成を主導し、従前の商店街を含む駅前地区の大規模な再開発を牽引。 ○商業施設の飲食・食物販フロアを中心に地元企業を積極的に誘致し、地産地消や地域内の経済循環を促進。年間約 400 万人が来館する鹿児島中央駅前の新たなにぎわいを創出。 ○約 500 人を収容できるホールを整備し、鹿児島市と帰宅困難者の一時避難施設に関する協定を締結するなど、中心市街地の防災機能向上にも貢献。
石垣空港ターミナル株式会社 （石垣空港ターミナルビル新築事業）	沖縄県	○平成 21 年設立。平成 23 年に本社を石垣市へ移転し、平成 25 年の新石垣空港開港に合わせ、国内線旅客ターミナルビルの供用を開始。 ○沖縄県、石垣市、航空会社、金融機関、地元団体等が出資する第三セクターとして、観光客・地域住民の移動や物流を支える八重山地域の拠点空港ターミナルを運営。	○ターミナル内の 25 店舗のうち 16 店舗を地元企業が占めるほか、定期的な取引先の約 65%を沖縄県内事業者とするなど、空港利用による消費を地域内へ還元し、地域経済の循環に貢献。 ○八重山地域の玄関口として国内外からの観光客や地域住民の移動、物流を支え、地域経済・観光振興に寄与。 ○再生水の利用、LED 照明の導入、ごみの分別等を進め、環境負荷の低減にも取り組んでいる。

【別紙３】

令和８年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）受賞に係る伝達式開催一覧

	事業者名（事業）	推薦団体	伝達式日時（予定）
1	猿払村漁業協同組合 （水産物加工処理施設・水産廃棄物等処理施設整備事業）	北海道 猿払村	１１月１１日(水)　１５時～１６時
2	株式会社サン・エナジー洋野 （洋野角浜太陽光発電事業）	岩手県 洋野町	１１月２５日(水)　１４時～１５時
3	株式会社アサヒニイズマ （試作品、研究開発品製造工場増築事業）	山形県 鶴岡市	１１月１６日(月)　１３時３０分 ～１４時３０分
4	株式会社オプナス （錠前製造工場建設事業）	埼玉県 秩父市	１１月１７日(火)　１６時～１７時
5	ニッポン高度紙工業株式会社 （電解コンデンサ用セパレータ製造工場建設事業）	鳥取県	１月実施予定
6	株式会社アイテイスト （ビジネスホテル建設事業）	徳島県 小松島市	１１月１６日(月)　１４時～１５時
7	株式会社日本生物製剤 （医療用医薬品等製造工場建設事業）	福岡県 久留米市	１２月１７日(木)　１３時～１４時
8	株式会社ウエストジャパンフーヅ （水産加工品製造施設建設事業）	長崎県 松浦市	１１月～１２月実施予定
9	南国殖産株式会社 （中央町 19・20 番街区再開発ビル保留床取得事業）	鹿児島県 鹿児島市	１１月　９日(月)　１５時～１６時
10	石垣空港ターミナル株式会社 （石垣空港ターミナルビル新築事業）	沖縄県	１１月２４日(火)　１３時１５分 ～１４時１５分

※開催日時は変更となる場合があります。

【別紙4】

ふるさと企業大賞　審査委員名簿

【委員長】

増田寛也（ますだひろや）	氏	株式会社野村総合研究所　顧問

【委員】　（以下、五十音順）

梶元伸（かじもとのぶ）	氏	総務省自治財政局財政課長（前地方債課長）
木村乃（きむらだい）	氏	関東学院大学法学部　教授
小林伸年（こばやしのぶとし）	氏	株式会社時事通信社 解説委員
田中里沙（たなかりさ）	氏	事業構想大学院大学　学長
松永桂子（まつながけいこ）	氏	大阪公立大学商学部　教授
松永忠徳（まつながただのり）	氏	株式会社みそ半 代表取締役会長
マリ クリスティーヌ	氏	異文化コミュニケーター／東京女子大学 教授 一般財団法人東京都つながり創生財団理事長